

石造美術勉強会 第56回

依水園・寧楽美術館と元興寺・ならまちを訪ねる

幹事

『史迹と美術』909号で尼崎先生が「曲水の宴」の「蛇籠」で、依水園に寄贈された雛人形を紹介され、その美しい写真に是非一度拝観したいと話題になっていました。元興寺は例会でも何度か訪れていますが、今回は元興寺の石造品と旧境内に発展した「ならまち」の文化も楽しみましょう。奈良町のご案内は藤岡建築研究室の藤岡龍介氏（古材文化の会）にお願いしました。

日 時 2023年2月26日（第4日曜日）

集 合 近鉄奈良駅 東改札口前 午前9時30分

参加費 7,000円（昼食代込「栗ならまち店」で収穫祭御膳3,500円を予約しています）

解 散 4時頃 ならまち紀寺町

募集人数 15名（先申込順と致します）

申 込 1月末まで

見 学（全行程3.8km徒歩の予定ですが、街中ばかりで坂道はありません）

依水園庭園〔名勝〕・寧楽美術館、元興寺極楽坊（極楽坊には多くの国宝や重要文化財がありますが、今回は建物外部からのみの見学になります）、元興寺塔跡 東塔跡礎石〔史跡〕石燈籠（正嘉元）、小塔院宝篋印塔（鎌倉後期）、藤岡家住宅〔重文〕（現在非公開ですが特別拝観をお願いしています）、奈良町宿・紀寺の家